

私たちの活動や意見を仲間
で共有します。
会費は県と日本平和委員会
の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2021年6月15日 第352号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//heiwatutiura.web.fc2.com/

結成 (1994/4/30) から27周年

土浦平和の会第28回総会開かれる (6/6)

改憲阻止、立憲主義回復！活動強化を決意

幅ひろい年代層への加入呼びかけなど、課題を握って離さず

6月6日午後、土浦平和の会は第28回総会を開催しました。今年は1994年4月30日の結成から27周年を迎えました。

総会に先立ち、興枙克久氏(筑波大学准教授)が「学問の自由と軍事研究—いま大学では—」と題して記念講演を行いました。

総会は、冒頭の岡田代表あいさつ、近藤事務局長、古澤理事などの各種報告・提案と続き、会場からの発言を経て、全議案が採択されました。

新年度運動方針として、改憲阻止・立憲主義の回復をめざす共同運動への取り組み、市民と野党の共同の進展をめざす運動、沖縄県民との連帯強化、東海第2原発再稼働反対・原発ゼロをめざす運動など13本の方針が決定しました。

新年度役員についても、岡田安正代表理事、近藤事務局長はじめ7名の理事と2名の会計監査が全員留任となりました。

コロナ禍の終息方向が見えない現状に、平和を求める私たちの諸活動も、平和行進の取り組みの制約(行進の中止など)、夏のピースデーの内容縮小、平和の旅の中止など余儀なくされています。しかし、コロナ感染への細心の注意を払いつつ、理事会の定例開催や毎月の19行動(憲法共同センターの共同行動)の継続など、会員の皆さんの健闘が光っ



議案提案する近藤事務局長

ています。ニュースの発行も、1994年(平成6年)5月の創刊から352号(本号)を積み上げてきました。さらに充実をはかります。

こうろき かつひさ

興枙 克久さん(筑波大学准教授) が記念講演
(土浦平和の会第28回総会)

学問の自由と軍事研究

—いま大学では—

筑波大学の興枙克久准教授(専門は林政学・マルクス経済学)

は、1968年宮崎県生まれで、ご実家は農家林家(自伐林家)、1997年九州大学大学院農学研究科を修了(農学博士)し、公益法人、九州大学助教を経て現職に就いています。

興枙氏は、ご自身の研究分野と筑波大学教職員組合つくば、日本科学者会議筑波大学分会、筑波大学の学長選挙を考える会などの活動経験に立って、①学術・大学の危機と筑波大学、②軍事研究・軍学共同と筑波大学、③(ご自身の)研究内容紹介、と話を進められました。

興枙氏は、自民党政権、菅首相が日本学術会議の人事に介入していく過程や問題点に触れながら、今回の6人の任命排除と6名が安保法制、特定秘密保護法、「共謀罪」法に反対を表明した事との関連、そして、この流れと、現在の筑波大学における学長選挙をめぐる疑問、軍事研究の危険な流れなどが同じ根を持った問題である事ををわかりやすく説明されました。



怒 土地利用規制法案 許すな!

他人事ではない土浦周辺、廃案とすべき

政府は今国会で、米軍や自衛隊基地周辺1kmを「注視区域」「特別注視区域」に指定し、土地・建物の所有者の氏名や住所などの情報を収集し、必要があれば利用を制限する土地利用規制法案の成立をねらっています。政府は5年後の見直しで、土地の利用規制だけではなく、収用も検討するとしており、戦中の治安立法を思い起こさせるとの声も上がるとんでもない悪法です。

日本国憲法は居住の自由、財産権を保障しています。土浦の自衛隊基地周辺にも多くの住民が住んでいます。戦争する国づくりと一体となった同法案は廃案しかありません。

2021夏の平和行事

2021年 国民平和大行進

恒例の集会・行進は中止し、街頭からのアピール行動

原水爆禁止 街頭スタンディング

7月3日(土) 午前10時～(1時間行動)

ケーズデンキ真鍋店前

主催：土浦 2021平和行進実行委員会

ふるってご参加を



今年1/22、核禁条約発効日の街頭行動

2021原爆と人間展

恒例のピースデーは中止、原爆パネル展のみ実施

8月7日(土)～11日(水)

※10日(火)は休館日のためお休みです

午前10時～午後5時

県南生涯学習センター

(土浦市役所5階)

入場無料

広島市立基町高校美術部の生徒が描いた「原爆の絵」と日本被団協のパネルを展示。

原爆と人間展



昨年の《感想ノート》より

■高校生の絵は写真よりリアルで胸にせまってきました。3歳ぐらいの子どもが布にふくませた泥水をのませてもらって「ありがとう・・・」と見ず知らずの人に抱かれて息を引きとったという。一枚一枚の絵に被爆者のおもいが伝わってくる。戦争は、核兵器は生きとし生けるもの、かけがえのない地球を破滅させる。

主催：土浦 原爆と人間展実行委員会

後援：土浦市・土浦市教育委員会

8・15平和のつどい

現在、実行委員会にて計画中です。

茨城県母親大会 記念講演

「出会い・命・平和の大切さ」
一逆境を乗り越え、夢に向かって生きる一
サヘル・ローズさん (俳優)

土浦オンライン会場

7月4日(日) 12:50～15:30

会場：土浦電城プラザ

大会協力券 500円

※詳細は参加案内ビラ等参照ください
自宅視聴希望など事前申込み要

《サヘル・ローズさん》
1985年イラン生まれ、ミラノ国際映画祭最優秀主演女優賞など受賞。テレビや映画・舞台、女優。国際人権団体NGOの活動でも活躍

※本会場は筑西市で地元の事前申し込みのみ。



問題企業に東海第2原発を 運転させてはならない

東海第2原発を運転する日本原子力発電本社が昨年12月原子力規制委員会の立ち入り検査を受けた。

敦賀原発2号機(福井県)の直下を走る断層について敷地内の断層の審査資料から931件の誤りが見つかり、その後の再点検でもさらに108件の誤りが見つかって、合計1139件の誤りとなった。昨年2月には地層の状況を示す資料80か所の書き換えや削除が発覚したため、規制委員会から「審査の根幹にかかわる」という理由で審査が打ち切られ原電の社内体制を検査することになったためである。

東海第2の審査についても「黒い津波」(地震・津波の複合災害時の避難等の問題)等の問題を残している。このような問題企業に原発の運転を任せるわけにはいかない。各種アンケートでは5割から6割が再稼働反対だ。県知事は県民の安全第1の立場で早急に再稼働反対を表明すべきである。(げんぱつ茨城第226号から抜粋)

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額593円(送料含)



土浦平和の会

